

黄泉国訪問譚と

古墳時代出雲の葬制

—考古学・地質学・歴史学のコラボレーション—

参加無料
申込不要

日時

2018年3月17日(土)

13:30~16:30

場所

島根県立八雲立つ風土記の丘
展示学習館



写真：古天神古墳から出土したおもな副葬品

日本列島における古代国家形成期に編纂された『古事記』や『日本書記』では、なぜ出雲が神話の舞台として描写されたのでしょうか。古代王権は出雲をどのような存在とみていたのでしょうか。その背景や歴史的意義を学術的に考えるため、島根大学萌芽研究プロジェクトを中心として出雲をフィールドとする異なる学問領域「考古学・地質学・歴史学」による学際的研究を2016年度より進めてきました。今回のシンポジウムでは、出雲における古墳時代後期から終末期の墓制と、おもに『古事記』にみえる「黄泉国訪問譚」を素材に、学際的研究の最新成果をわかりやすく紹介いたします。

プログラム

○講演

「考古資料から見た弥生～古墳時代出雲地方の特質—形成と領域—」
古谷 毅 (京都国立博物館)

○報告

「黄泉国訪問神話と出雲」
高橋 周 (出雲弥生の森博物館)

「出雲における横穴式石室・石棺式石室石材の化学分析」
亀井淳志 (島根大学総合理工学部)

「古墳時代墓制としての出雲型石棺式石室の特質」
岩本 崇 (島根大学法文学部)

○パネルディスカッション

講演者と報告者による全体討論
コーディネーター：松本岩雄 (島根県立八雲立つ風土記の丘)

<関連企画展示>

2016・2017年度朝日新聞文化財団文化財保護助成『出雲型石棺式石室出土金属製品の保存修復と公開』によって保存修復された、古天神古墳と西宗寺古墳出土の鉄製武器などを八雲立つ風土記において展示公開(初公開)します。

○展示期間

2018年3月14日(水)
～5月13日(日)

※火曜日は休館

問い合わせ先

島根大学法文学部
岩本研究室
電話：0852-32-6195
メール：
iwamoto@soc.shimane-u.ac.jp

<会場周辺マップ>

